

大槌町 けやき共育

令和5年度取組の成果

大槌町教育委員会

令和5年度の取組



- ①特別支援教育研修会
- ②特別支援員研修会
- ③事例検討会
- ④ペアレント（ティーチャーズ） ・ トレーニング
- ⑤映画「みんなの学校」上映会
- ⑥木村泰子氏による講演会
- ⑦専門チームの活用

⑤映画『みんなの学校』上映会



- 参加者102名（教員含め教育関係者61名、一般41名）
※大槌町以外からの参加13名
- 1月25日に開催する町主催の研修会に、木村泰子氏の講演会を企画していたことから実施したもの。
町内教職員は冬季休業中ではあったが、悉皆で参加いただいた。また、大槌町内外にもチラシ等にて周知していたことから一般の方々からも多くの参加をいただいた。来場者には、1月の研修会の案内もチラシ等にて行った。



⑥講演会「大空小学校から学んだ『子どもが主語』の学校づくり」

木村 泰子氏



- ・令和6年1月25日（木）
児童生徒実践発表会なども含めた大槌町内
教職員の研修会内で実施
- ・参加者130名（町内教職員以外68名）
- ・児童生徒の発表会のみを参観した保護者もいたが、
映画を見て「直接お話を聞きたい」という地域の方も
多く来場されていた。映画を事前に鑑賞したことを木
村氏にお伝えしていたことから、講演の内容も映画に
出演していた子どもたちの後日談から始まり、参加者
はどんどん引き込まれていった。「大槌は、町全体で
子供たちを育てている。あの子どもたちの姿からそれ
が分かります」と、児童生徒の発表後に木村氏からい
ただいた言葉が印象的であった。



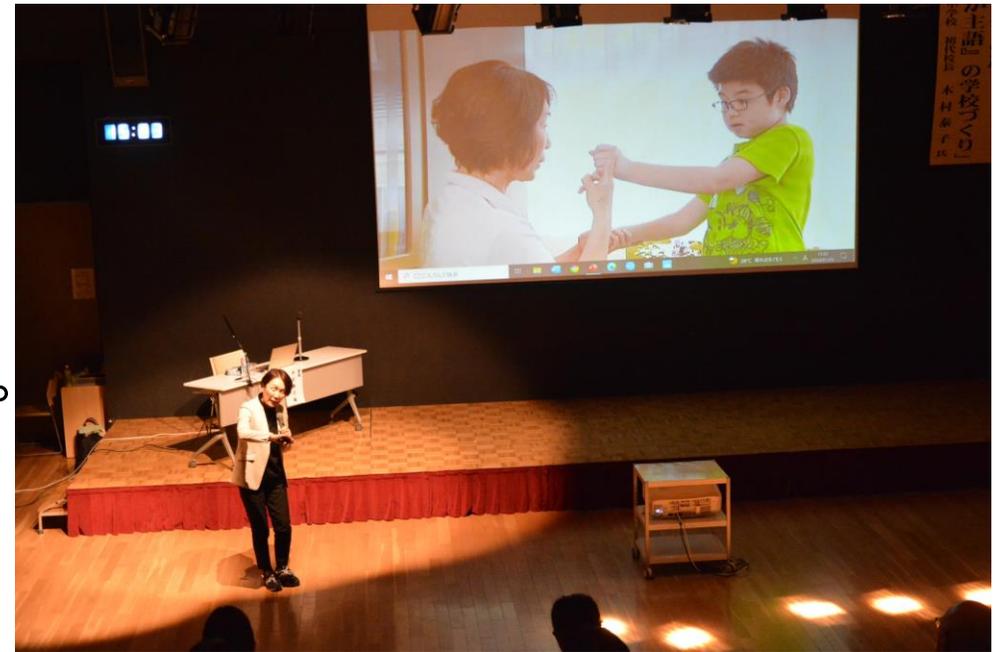
⑥講演会「大空小学校から学んだ『子どもが主語』の学校づくり」

木村 泰子氏



(参加者の感想から)

- 直接木村先生の言葉で実践を伺うことができ、元氣と宿題を頂いた気持ちです。映画の中の子どもたちがその後どのように成長してきたのかも伺うことができてよかったです。(教員)
- 何よりも子どもたちに対する想いの強さを感じた。映画に出てきた児童のその後を聞き、子どもは変わる、成長すると改めて感じた。自分たち教員が目の前の子どもたちに何かしら変わるきっかけになれば良いと思う。今後も『子どもが主語』をキーワードに、子どもたちと向き合っていきたい。(教員)
- 映画の中の、大空小学校のみなさんの姿ありきの講演でした。大空小学校の卒業生の今の様子を知り、さらに励まされたような気がしました。子どもの持つ無限大の可能性を感じ、自分も決めていかなければならないと思いました。(教員)



⑥講演会「大空小学校から学んだ『子どもが主語』の学校づくり」

木村 泰子氏



(参加者の感想から)

- 学びの目的は「その子がその子らしく育つこと」という言葉が印象に残りました。私も初任者としてできないことばかりに目を向けるのではなく、無理な時は先輩方の協力を仰ぐ姿勢が大切だと学びました。(教員)
- 木村先生の一言一言に引き込まれ聞き入っていました。子どもたちと向き合っていたからこそ、真の気持ちが聞けたのだろうと思いました。他の先生たちにも聞かせたかった講演でした。(保育施設長)
- 大槌町、大槌の学校は、どこに向かっているのかを、今一度ははっきりとみんなで考えたい。どんな子どもたちの姿を目指していくのかを、もっと具体的に、もっとはっきりと。みんなで明らかにしていきたい。今、私の中ではそれが明らかでないので、迷うことが多い。勉強になったし、たくさんのことを考えました。終わってから同僚と、“答えのない問い”について議論をしました。そのようなきっかけをありがとうございました。(教員)

